



Japan International Cooperation Agency

Thailand Office

31<sup>st</sup> Floor, Exchange Tower, 388 Sukhumvit Road, Klongtoey Bangkok 10110  
TEL: (+66) 2-261-5250 FAX: (+66) 2-261-5262 URL:<http://www.jica.go.jp>

## PRESS RELEASE

■Contact

- JICA Thailand Office: Mr. Kenichi Ito

Aug 11, 2010  
JICA タイ事務所

### コミュニティの高齢者保健福祉サービスのモデル発表で初の全国会議 ～タイで急速に進む高齢化への日タイ共同の試み～

タイ保健省及び社会開発・人間の安全保障省と JICA は、高齢化の進むタイにおいてコミュニティが支える高齢者のよりよい暮らしのモデル構築を目指した「コミュニティにおける高齢者向け保健医療・福祉サービスの統合型モデル形成プロジェクト」を 2007 年 11 月から 4 年間の予定で実施しています。同プロジェクトでは、堀江チーフアドバイザーをはじめとする日本側専門家チームの協力のもと様々な活動を行っておりますが、8 月 20 日(金)に Maruey Garden Hotel において、コミュニティの高齢者保健福祉サービスモデルの発表、意見交換を目的とした初めての全国会議を開催しますので、ご案内致します。

会議次第・詳細とプロジェクトの概要は別添をご参照下さい。タイ側からは保健省パイジット事務次官、日本側からは日本大使館小町特命全権大使、JICAタイ事務所長大西が参加する予定です。

また、この会議の中で、タイ国及び邦人メディアに対して記者会見を開催するはこびとなりましたのでここにご案内致します。

参加を希望される方は、8月17日(火)までにメールにて、JICAタイ事務所(伊藤賢一)へお名前と社名をご連絡願います。

#### 【お問い合わせ先】

・JICAタイ事務所: 伊藤 賢一

Tel: 02-261-5250(内線125) / Fax: 02-261-5262 / e-mail: Ito.Kenichi.2@jica.go.jp

タイのコミュニティにおける高齢者向け保健医療・福祉  
サービスの総合型モデル形成にかかる「第1回全国会議」  
(JICAプロジェクト「CTOPプロジェクト」)

CTOPプロジェクト [02-591-8611](tel:02-591-8611) (職場：保健省)  
JICA 長期専門家  
チーフアドバイザー 堀江 裕 [yhorie@health.moph.go.th](mailto:yhorie@health.moph.go.th)  
コーディネータ 奥井利幸 [PEA02245@nifty.com](mailto:PEA02245@nifty.com)

日時： 2010年8月20日(金) 09:00~

場所： Maruey Garden Hotel (<http://www.marueygardenhotel.com/map.html>)

参加者数：150~200名程度(全国各地から参集)

スケジュール(案)：

- **08:40-08:55** 記者インタビュー (日タイ双方の代表者が揃って受ける)
- **09:00** **Paijit Warachit** 保健省事務次官 開会挨拶  
小町恭士特命全権大使 ご挨拶
- 日本政府への感謝
- プロジェクトサイトへの車椅子 **150** 台の寄贈(フランスベッド)
- **09:30** **CTOP** プロジェクトの活動報告 **Seri Hongyok** 事務次官補
- 10:00 プロジェクトサイトからの報告(4か所：Chiang Rai, Khon Kaen, Nonthaburi, Surat Thani)
- 11:00 「アジアの高齢化に対する JICA の取組み」大西靖典所長
- 11:15 「日本の経験について」堀江裕チーフアドバイザー
- 12:15~13:15 昼食
- 13:00 グループ・ディスカッション
- 15:00 総括(結論をまとめる)

(会議室の外に、プロジェクトサイト(4か所)の展示ブースを設置)

趣旨： アジアの中で先行して社会の高齢化が予測されるタイで、日本の技術協力のもと進められているコミュニティの高齢者保健福祉サービスモデルの発表、意見交換を目的とした初めての全国会議。

背景：

(1) **CTOP** プロジェクト： 2007年11月から4年間の JICA プロジェクト。タイの保健省、社会開発・人間の安全保障省と JICA が協力して、4地域で高齢者の保健福祉モデルの開発を推進。

正式名：「コミュニティにおける高齢者向け保健医療・福祉サービスの統合型モデル形成プロジェクト」

略称：**CTOP** = **C**ommunity Health Care and Social Welfare Services Model for **T**hai **O**lder **P**ersons

タイ国内のチェンライ(北部)、コンケン(東北部)、ノンタブリ(首都近郊)、スラタニ(南部)の4県で、日本の市・町に相当するタンボンが選ばれ、地域の高齢者が必要とするサービスモデルを開発中。

(2) タイの高齢化の状況： タイの60歳以上の高齢者比率は2010年の国連推計で11.5%(日本は30.5%)。タイの現在の高齢化の状況は、日本の1975年頃に相当。急速な少子化も進んでいて「合計特殊出生率」は1.65。今後これまでの日本と同等以上のスピードで高齢化が進むことが予測される。

- (3) タイの保健福祉サービス： しかし、タイの保健福祉のサービスは限定的。 医療については、老若を問わず、地域の病院で無料診療を受けられる仕組みが整えられているが、人口当たりの医師・看護師数、入院ベッド数等は、極めて低い水準。 日本の老人ホームに相当する施設も少なく、入院、入所に依存しないコミュニティでの在宅高齢者モデルの開発が急がれる。
- (4) CTOP の 4 か所のモデル開発： 各地区では、現在、全国各地でモデル実施が可能となるよう、“マニュアル” (料理のレシピに相当するもの) を開発中。
- ・ 北部のチェンライでは、最も蔓延している生活習慣病である「**高血圧**」について、検査、食事、運動等の生活改善を促進するモデルを実施中。
  - ・ 東北部のコンケンでは、高齢者が日々の生活に支障になっている白内障などの「**目と口腔の健康**」について、検診を行い治療につなげるモデルを実施。最も多い白内障は、日本では治療の容易な病気。 タイでは、眼科医の不足もあり、失明の寸前まで治療を受けない高齢者が多く見られる。
  - ・ 中央部のノンタブリでは、病院から退院した高齢者が家庭・地域での生活を円滑に送れるように、高齢者センターで「**リハビリテーションセンター**」を行うモデルを週 3 回実施中。
  - ・ 南部のスラタニでは、公共交通機関の発達していない地方の課題に応えるため、保健と福祉の担当者がセットになって、村落を回り、検診や福祉の相談を行う「**巡回・ワンストップ保健福祉サービス**」モデルを毎月実施中。 高齢者やボランティアが楽しみに参加しているとのこと。

8 月 20 日は、こうした各地の取組みについて紹介する初めての全国会議。

CTOP プロジェクトの期待： タイ政府は、過去約 20 年、高齢者の在宅医療・福祉の発展に重点を置いてきた日本の経験がタイの高齢者の保健福祉モデル普及につながることを期待。

高齢者対策の分野での JICA の世界初の技術協力プロジェクトであり、タイの社会基盤の強化につながることを期待。

タイ側出席予定者



保健省事務次官  
CTOP プロジェクトディレクター  
Dr. Paijit Warachit

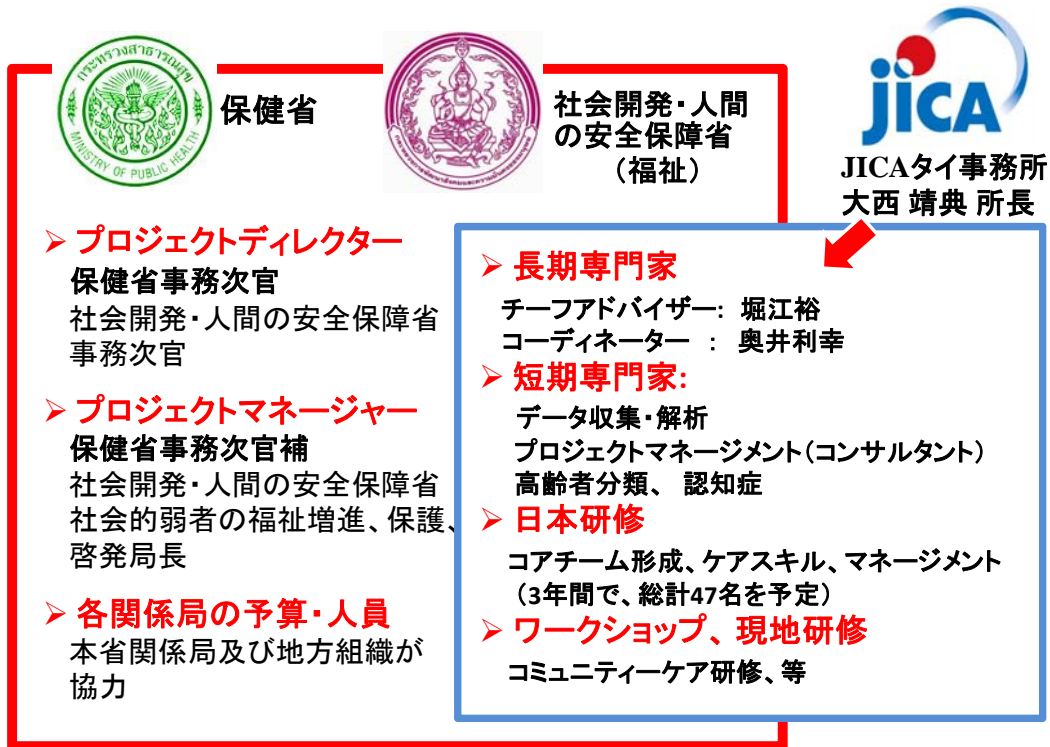


保健省事務次官補  
CTOP プロジェクトマネージャー  
Dr. Seri Hongyok



保健省 前 健康局長  
CTOP シニアアドバイザー  
Dr. Narongsakdi Aungkasuvapala

# CTOP プロジェクトの構造



## 4か所のプロジェクト・サイト



- **北部:** 色々な山岳民族のいる地域です。近くにチェンマイがあります
- **東北部:** バンコクの家政婦、運転手には、東北地方から出稼ぎに来て、東北部の実家に仕送りをしている人がたくさんいます
- **中央部:** バンコクに近いので、通勤する新興住宅地域の人もありますし、古からの伝統的な生活をする人たちもいます
- **南部:** スラタニは、観光で有名なサムイ島もあります。近くのプーケットは、イスラム教の住民が多いのですが、スラタニは、仏教徒が多いです

## 4か所のプロジェクト・サイトの状況

[2008年実施のCTOP高齢者調査結果より]

プロジェクト・ サイト	チェンライ(県) ヤンホン(市)	コンケン(県) サアード(町)	ノンタブリ(県) バンシートン (町)	スラタニ(県) バンナー(市・ 町)
基本指標				
人口	11,727人	10,148人	8,328人	9,824人
60歳以上 高齢者人口 (率)	1,302人 (11.10%)	920人 (9.07%)	1,042人 (12.51%)	1,020人 (10.38%)
世帯数 (平均世帯規模)	3,558世帯 (3.30人)	2,270世帯 (4.47人)	3,319世帯 (2.51人)	2,065世帯 (4.76人)
地域面積	134.8km <sup>2</sup>	82.0 km <sup>2</sup>	5.8km <sup>2</sup>	71.08 km <sup>2</sup>
人口密度	87.0 人/km <sup>2</sup>	123.76 人/km <sup>2</sup>	1,435.86 人/km <sup>2</sup>	138.21 人/km <sup>2</sup>
無料医療対象	10,018人 (86%)	9,259人 (91%)	4,142人 (50%)	8,178人 (83%)

## タイの高齢化は日本の高齢化の30-40年遅れで進行

(国連 World Population Prospects : The 2008 Revision)

[赤字は、日タイ各国による統計]

60歳以上の高齢者人口比率 (%)	1975	2010	2050
タイ	5.6	11.5	26.4
日本	11.7	30.5	44.2
15-59歳の勤労世代比率 (%)	1975	2010	2050
タイ	50.2	67.0	56.4
日本	64.0	56.3	44.6
合計特殊出生率	1975-1980	2005-2010	2045-2050
タイ	3.92	1.81(見直し)	1.85
日本	1.83 (1.66(1988))	1.27 <b>1.37(2009)</b>	1.60
平均寿命	1960-1965	2005-2010	2045-2050
タイ	55.6	68.8	77.2
日本	68.9	82.7	87.2

高齢者の割合(60歳~)は、日本の35年前とタイの現代がほぼ一緒

急速な子供の減少。実態は、日本の20年遅れ

平均寿命は45年の差